



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3 **Real Happiness is Helping Others** まことの幸福は人助けから
1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマン R.I.会長

●本日の卓話

10月9日 第293回例会

「職業奉仕フォーラム」

Forum on Vocational Service

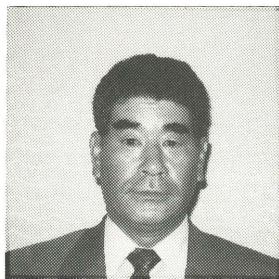
●先週報告

10月2日 第292回例会
クラブ創立6周年記念例会

■卓話 「創立記念日に因んで」 当クラブ会員 佐藤 定宏 君

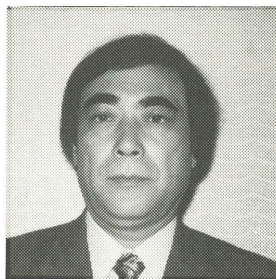
■会長報告 10月2日入会の新会員3名（相澤成憲君、佐々木忠行君、廣瀬哲久君）を紹介しました。

アイザワ シゲノリ
相澤 成憲君



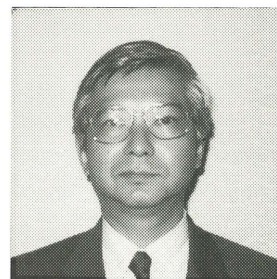
1933年8月19日生／（株）日刊建設通信新聞社代表取締役社長／〒105 港区西新橋2-11-4 西新橋立川ビル／TEL 3502-8581／自宅 ●〒252 藤沢市遠藤700 羽根沢1-103／TEL 0466-88-0821／職業分類●新聞発行／推薦者●佐藤定宏君、宮武保義君

ササキ タダユキ
佐々木忠行君



1935年3月30日生／（株）隆設備設計事務所代表取締役／〒150 渋谷区広尾5-23-5 長谷ビル／TEL 3446-0886／自宅 ●〒154 世田谷区下馬6-16-3／TEL 3424-4590／職業分類●建築設計設備／推薦者●佐藤定宏君、宮本正祥君

ヒロセ テツヒサ
廣瀬 哲久君

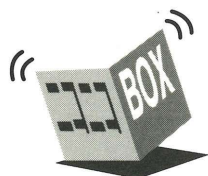


1943年10月9日生／（株）廣瀬建築設計事務所代表取締役／〒106 港区六本木4-3-11-424／TEL 3405-6135／自宅 ●〒351-01 和光市白子1-17-20／TEL 0484-61-1712／職業分類●建築設計／推薦者●四分一勝君、吉岡琢磨君

■慶事披露 お誕生日／松原秋夫君（10月6日）、渡部一元君（10月8日）

100%出席／6年：馬場一廣君、入沢頼二君、田中 武君、吉田用親君

■出席報告 会員66名中 出席46名 欠席20名（内出席免除者3名）／9月25日修正出席率97%／ビジター8名（都内8名・敬称略）松田 力（東京世田谷）浅野五郎・保科 正・西山 巖・野末源一・H. Schmidt・鈴木治己・矢橋信雄（以上東京南）／ゲスト3名 柴田晴夫氏・石川千恵子氏（以上泉の家）、李榮洙氏（米山奨学生）



順不同、敬称略

10月2日●26件／¥96,000
多額のご寄付をありがとうございました。
本年度累計／¥711,836

保科 正（東京南）●新南、南の対抗ゴルフ会大変お世話になりました。

武下 朗 ●バザー出品まだの方大至急お願いします。

谷村義雄 ●古稀展も終わり、ほっとしています。ありがとうございます。

鈴木重徳 ●9月はアテンダスのみとなりました。

E.A.Zaloom ●保森さん、写真も含めて色々ありがとうございました。

沖 宏之 ●川鍋さん、ありがとうございました。

田中 武 ●6年間無事ロータリアンとして過ごすことができました。

入沢頼二 ●おかげ様で6年間100%出席できました。

斉藤茂之 ●J G F R大阪大会に参加しました。田中先生からはビールをいただきました。

関 征春 ●柴本会長、写真ありがとうございます。港区バザーのご協力よろしく。

青野信次、芦谷庸二郎、竹島忠昭 ●小湊先生、ご著書ありがとうございました。

平井逸夫、伊部和夫、馬場一廣、川鍋二郎、馬場博一、岩上好範、渡邊 治、宮武保義、

柴本芳郎、後藤信夫、岩瀬秀郎、佐藤定宏、宮本正祥

●6周年おめでとうございます。工場見学と親睦会お世話になりました。

創立6周年記念日に因んで

●佐藤 定宏(当クラブ会員)

我がクラブは本日の例会を以って創立6周年を迎えることになりました。

昨年度は創立5周年の記念すべき年度であり、節目の年として、記念誌を発行し、クラブ内外にこれを披露しました。

当クラブの創立にまつわる事情や創立にかかわった準備委員会等の仕事については、その記念誌に詳述されていますし、記念誌発行の責任者でありました田島委員長からもお話を伺ったばかりですので、本日は、過去のことよりも今後当クラブは如何に行動すべきかを話してみたいと思います。

元より当クラブが6周年を大過なく迎えられたことは、田辺・田島両先輩を始めとし、東京南クラブから移籍した7名の方を含むチャーターメンバー25名の努力、東京南クラブの絶ゆることのないバックアップがあつてのことで、創立間もないクラブからガバナーとして田辺さんを輩出し、当時50名そこそこのメンバーで地区大会のホストクラブを務め大会を主催できたこと、また社会奉仕の部門でこの間ガバナー賞を受賞できたことなど、すべてこの礎石の上に達成できたことであり、先輩各位に厚く感謝する処であります。

さてこのクラブもいよいよ第7年目に踏み込むこととなりますが、クラブの気風にせよ、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕などの各部門で新南の色合いがだんだん出てきていると思います。南クラブは非常にリベラルな気風を有する尊敬すべきクラブですが、これからは、親のクラブというより兄クラブとしてお付き合いをしていく心を持つことが、南クラブの期待にも沿う方向であると思います。

ロータリークラブで第1に唱えられる“奉仕の理想”という日本語は、英語の“IDEAL OF SERVICE”の直訳ですが、日本語としてなかなか素直に理解できない言葉だと感じるのは私一人ではないと思います。しかし、ロータリー

ークラブのメンバーは奉仕の理想に共鳴して集まっている以上、この言葉を正しく理解する必要があります。ロータリーの先輩達はこの言葉をどう捉えていたのでしょうか。昭和41年4月の川崎ロータリー創立15周年記念の出版物に、元ガバナーで日本鋼管副社長を務められた笹部誠さんが次のように書いています。

『ロータリーの綱領には“尊ぶ事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し…”とあって、“奉仕の理想”という語はロータリーの基となっているのであるが、この理想という語は時に誤解を生じているようである。原語は言うまでもなく“Ideal of Service”である。処で日本語で“理想”というと、現実には到達し得ない、ある完全な状態というように考えられる。従つて奉仕の理想というと、遥か彼方の目標であつて、常に保持すべきではあるが、達成出来ないものと考えてしまう。そこで一体奉仕の理想とは何だ、という疑問や諦めが起こる。そこでこの理想という語を觀念という語に取り換えてみたらどうか、“Ideal”という語には“觀念”の意味がある。もっと砕いて言えば“奉仕の気持”である。この気持を奨励且つ育成することであるから、何も難しいことではない。他人の身になって考えて行動するのが奉仕である。思いやりの心が奉仕となって現れる。ことばとは難しいものである。』

一方、昭和47年10月に初版、平成4年6月に改定第28版を発行している元3350地区ガバナー前原勝樹さんの「ロータリー入門書」にも、前後を省略しますが、同じように『相手の身になっての言動すなわち奉仕の理想は単に職業の場で無く、よりよい社会をつくるのに大切な信条である』と書かれています。

奉仕という言葉も、理想という言葉も、辞書を引いただけでは一向にああわかったという風には参らないので一言申し添えました。

お知らせ

他クラブ例会変更

東京成城新RC10/15(木)→移動例会(親睦旅行)に変更

東京銀座新RC・東京シティ日本橋RC10/16(金)

東京新橋RC10/27(火)、東京南RC10/29(木)→夜間例会に変更

東京新宿RC10/30(金)

東京新宿RC10/16(金)→中央分区I.M.(10/14)に振替

東京日本橋東RC10/19(月)

東京西南RC・東京みなとRC10/20(火)

東京日本橋西RC10/21(水)

東京成城新RC・東京杉並RC・東京城南RC10/22(木)→千代田・京浜・山の手3分区合同I.M.(10/19)に振替

●4つのテスト

言行はこれに照らしてから

① 真実か どうか

② みんなに公平か

③ 好意と友情を深めるか

④ みんなのためになるか どうか

●次回予告

10月16日(金) 第294回

■卓話予定「国際電話うらおもて」

国際デジタル通信(株)取締役副会長 末次 英夫 氏

東京新南ロータリークラブ

会長:柴本芳郎 副会長:宮武保義 幹事:入沢頼二

〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

齊田 戡、青野信次、田中 武

荒木昭文、新保國彦、鈴木 丈

●10月度編集担当者/太日方 真

●卓話テーマ翻訳/渡部 一元

●印刷/豊圓堂印刷(株)